



外国出張報告書

平成 25 年 10 月 10 日

1. 出張国名 台湾
2. 出張月 平成 25 年 9 月
3. 出張目的 APAARI シンポジウム“Asia-Pacific Symposium on Molecular Breeding”
への参加

4. 成果の概要

シンポジウムは、APAARI メンバー各国におけるマーカー選抜 (Marker-assisted selection: MAS) を利用した育種の促進・この分野における研究ネットワーク形成強化を目的として、植物や動物の育種に関わる関係者を (11 か国 50 名) 参集して開催された。出張者からは JIRCAS の MAS 利用の実例として、MAS を利用したさび病抵抗性大豆品種の開発を中心に、ダイズの耐塩性遺伝子の単離、イネの根長遺伝子の単離とアジア・アフリカ稲への導入、いもち病抵抗性のマルチライン品種の育成について紹介した。他の参加国からも当該分野における技術的な進歩、MAS の状況の報告があった。発表後グループディスカッションにより参加者と MAS の利用促進に関する意見交換を行った。